



地震に備えて家族では、どんなことを話し合っていればいいのか

家族の行動や、被害を小さくする方法

地震が起こっても、家族のだれもが、あわてずに行動できるように、月に一度は日を決めて、家族全員で、防災会議を開くようにします。

地震がおそろしいのは、どうしてなのか、家族が無事でいられるには、どうしたらよいか、いざというときに、家族一人ひとりが、どのように行動したらよいか、被害を小さくする方法などについて、話し合います。

連絡方法や集合場所など

まず初めに、家族で話し合っておくことは、地震のときの連絡方法や、集合場所です。

ふだんから、伝言を伝えてくれる親せきや、知り合いの人を決めておきます。また、家以外の場所で、伝言を書いたり、はったりする所を決めておきます。もし、集合場所が決まったら、確認しておくことが大切です。

地震が起こったとき、だれがガスの火を止めるのか、だれが窓やドアを開けるのか、などの役割を決めておきます。また、ひなんするときに持ち出す物や、その置き場所なども決めておきます。

このように、家族の役割が決まったら、ふだんから、訓練を積み重ねておきます。

(監修・国司 真)

